

第19期 第1回小平市緑化推進委員会 会議要旨

- 開催日時 令和6年10月31日(木) 午後3時～午後5時
- 開催場所 小平市役所 5階 503会議室
- 出席者 椎名委員、山田委員、馬場委員、河野委員、中島委員、
八田委員、塩島委員、岩井委員、土屋委員、大和田委員(順不同)
- 傍聴人 なし
- 議題 第19期小平市緑化推進委員会の検討課題について
- 配付資料 (1) 第19期 第1回小平市緑化推進委員会次第
(2) 第19期 小平市緑化推進委員会名簿(資料1)
(3) 小平市緑化推進委員会設置要綱(資料2)
(4) 小平市第三次みどりの基本計画 概要版(資料3)
(5) 過去の提言書について(資料4)
(6) 第17期小平市緑化推進委員会提言書(資料5)
(7) 第17期小平市緑化推進委員会提言書 緊急提言(資料6)
(8) 第18期小平市緑化推進委員会提言書(資料7)

会議の要旨

- 委員長の選出
委員の互選により、椎名 豊勝氏に決定した。
- 副委員長の選出
委員の互選により、山田 眞久氏に決定した。
- 第19期小平市緑化推進委員会の検討課題について

委員長

緑化推進委員会の委員について、今期から新しく参加されている方もいるため、小平市の水と緑について、お一人ずつお話を頂きたい。

委員

本委員会からこれまで提言してきたことについて、反映されていないものも多いと感じる。予算の都合もあるため、全て実行するのが難しいことは理解している。しかし、できることは早めに実行して欲しい。

上水新町の樹林で、フクロウが鳴いているのを聞いた。昨年も確認したため、停留していると思われるが、ナラ枯れによって停留しやすい枯木が出てきているからではないかと考える。枯木を撤去しなければ、生物多様性に大きな影響が出てしまう。

委員

市内の用水路敷や緑道の樹木が古くなってきているため、それらを再生し、みどりを増やしていくことを提案したい。また、屋敷林のこれからの管理方法についても話したい。

委員

街路樹の管理をより良くするために、連携をとれるような仕組みを構築すべきだと考える。ナラ枯れで切られている樹木も多いので、市内の樹木の台帳を閲覧できるサイトなどがあるといいと思う。

委員

ナラ枯れの影響もあるが、現在の小平市のみどりは健全ではないと思う。樹林では老木が増え、樹木が密集し過ぎており、地上は陰性植物ばかりになり、地面も固くなっているため、陽性植物は育たない状況である。萌芽更新を行い、若い樹木が育つ環境にする必要がある。また、玉川上水はもっと樹木を間伐して、陽の当たるようにして欲しいと思う。市民からは樹木を切らないで欲しいとの意見も聞くが、近隣の市では萌芽更新を行っている場所もある。これに倣って、小平市にも萌芽更新を根付かせ、市民にもみどりに関する正しい知識を理解してもらう必要があると考える。

委員

小平市には20年以上住んでおり、市内のみどりに愛着もあるが、問題も多くあると思う。秋には落ち葉が多く、高齢化する住民だけでは対応しきれなくなっていることや、夏には野火止用水敷の草が繁茂し過ぎてしまうことなどが挙げられる、中には野火止用水敷に自宅で不要になった植物を勝手に植えて、それを草刈り時に刈られてしまったことに対して苦情を言っている方がいると聞いた。市民にも正しい知識を身に付けて欲しいと思う。小平市へのリクエストもあると思うが、住民も理解しなければいけないことも多くあると考える。

委員

どングりの里親制度について、市内の小学校を巻き込んでやっているところだが、近年の夏の暑さで枯れてしまっている。鉢植えでは育てるのが難しければ、地べたで育てる方法も検討すべきである。

また、今では市内でホタルが減多に見られなくなっているため、この場でアイデアを出し合って小平市の自然環境を保持していかなければいけないと思う。

11月頃に行われる巣箱設置事業などは、みどりを豊かにするイベントでもあるため、もっと普及して欲しい。

委員

小平市内にある320箇所以上の公園や、全長50km以上の用水路などを特徴にした、みどりのまちづくりについて提案したい。主に鷹の台公園や鎌倉公園について情報を共有しながら提言したいと思う。また、都市計画道路の整備などが進む中で、今あるみどりを保全し、増やしていくための提言をしたいと思う。

委員

小平市内の雑木林は経済林として活用されていた経緯があるが、現在はそうではないため、市民からの興味関心が薄れてしまっていると感じる。そのため環境グリーンフェスティバルなどのイベントにて雑木林のPRをして、雑木林のいいところを伝えたいと考える。

委員

雑木林を保全する団体で原木シイタケの栽培などは行っているか。

委員

過去に学識有識者の方の指導のもとで、小平市内の雑木林の原木を使用して行ったことがある。刃物を取り扱うため、十分な指導を行い、注意を払いながら、小平市と共催で行った。

委員

こどもの頃に雑木林でカブトムシを捕まえたり、用水路でホタルを見たりしていたが、近年ではあまり見られなくなってしまった。今年はセミも見られなくなっており、環境が悪化してきていると感じている。自宅の庭の花や木がよく枯れてしまうのだが、それらも関係しているのではないかと。委員会の中で話をしたいと思う。

委員長

第1回の委員会にあたり、事前に課題をまとめてきたので述べたいと思う。

大切なことは、雑木林や屋敷林、用水路や玉川上水などを武蔵野新田開拓時代の歴史的自然文化財として積極的に残し、後世に伝えることである。また、鈴木遺跡については、第18期でも現地を訪問したが、遺跡公園として活用することを提言したところである。小金井桜では、林床にある草本類の生育環境を整えるために、下草刈りを行い、生物多様性を復活させる取り組みを行っている。他にも用水路のホタル復活など、実現できれば観光資源となるものが小平市には沢山ある。これらを後世に伝えることが私たちの使命だと考える。

他にもあるが、次回お話しさせていただきたいと思う。

他に意見はないか。

委員

こだいら名木百選について、マップに示されている樹木の中にはなくなっているものもある。内容について見直しを行い、理由書などを付ける必要があるのではないか。

事務局

ご指摘のとおりである。事業を開始して10年が経過しており、一度見直しをする必要があると考えている。個人の所有の樹木もあるため、知らないうちに伐採されているものもある。こだいら名木百選の運用については、検討課題としたい。

委員長

名木百選とあるが、百本あるわけではないので、今後も増える可能性もあるのではないか。市民の観光活動に役に立つ資料だと思うので、委員会で話し合う必要があるかもしれない。

他には意見はあるか。

委員

鷹の台公園や鎌倉公園、指定管理者制度の最新の情報について、教えていただきたい。

事務局

次回の委員会の際に情報提供する。

委員

外来種の植物で、駆除しなければならない植物があれば教えていただきたい。

事務局

ホームページにも掲載しているが、特定外来種に位置付けられる植物は駆除の対象になるが、それ以外は対象にならないようになっている。影響や駆除方法については案内しているが、一覧としては必要に応じて提供できればと思う。

委員

小平市で特定の危険・有害植物はあるか。

事務局

小平市としてそのように位置付けている植物はない。ナラ枯れの影響で市内で確認されたカエンダケについては、注意喚起を行ったことがある。

委員長

ナラ枯れに感染した樹木について、場所によって伐採できないものもある。そのような場所では落枝への注意も必要ではないか。また、スズメバチについても注意が必要である。

委員

7月に突風が吹いた際に、玉川上水沿いのクヌギが倒木したが、何本も将棋倒しになっていた。

委員長

一本の倒木や落枝があると、他の樹木にも影響が出てしまうため、注意が必要である。他になれば本日はここまでとする。

以上